

情報名:ミラノ 2K・M トップリアクター 塗装仕様

◆ トップリアクターの特長

1. **ボカシ塗装時のボカシ際の黒ずみが出難く、メタルムラが発生し難いです。**  
フェンダー程度のボカシ塗装では、アンダークリヤー・ボカシ剤は必要ありません。  
また、ボンネット等広い面積でもムラなく簡単に塗装ができます。
2. **きれいな仕上りのメタリック塗膜が得られます。**  
特殊製法にて生産しているため、アルミが規則正しく配向して美しいメタリックに仕上がります。
3. **メタリックのトマリが改善されます。**  
トップリアクターは、70～120%と幅広い希釈が可能です。  
トマリの悪い塗色は、希釈量を少なくすると塗り回数を減すことができます。
4. **ミスのナジミが良く、ミスのガサツキが少ないです。**  
ミスが細かくソフトな状態で塗装できるのに加えて、ナジミが良いためメタリックが楽に塗装できます。

◆ 使用方法

①トップリアクターの使い分けは、下記の表をご参照下さい。

リアクターの種類	5℃	10℃	15℃	20℃	25℃	30℃	35℃
リアクター10	適用範囲						
リアクター20		適用範囲					
リアクター30			適用範囲				
リアクター40				適用範囲			

◆ トップリアクター使用上の注意事項

1. **トップリアクターは、乾燥がやや遅めの設計になっています。**  
一度に厚塗りするのを避け、十分に塗装間隔を取りながら、セミウエット状で塗り重ねて下さい。  
トップリアクターは、室温放置の状態ではなかなか乾きませんが、エアブローすることにより直ちに乾きます。
2. **メタリック原色の 0711 スターブライツ細目・0714 スノーホワイト細目が 50%以上含まれる塗色は、リアクターを 100%以上希釈してご使用下さい。**  
この 2 原色は、アルミが多く含まれているため、希釈が少ないとアルミの散りが悪くなります。

## ◆ 標準塗装仕様

## ①前処理工程

- 塗装前の足付け
  - ブロック塗装 シルバー・淡色系塗色 ⇒ P600 以上
  - 濃色系塗色 ⇒ P800 以上
  - ボカシ塗装 サフ面 P800 研磨後、周辺をアブラロン#2000 にて足付け
- ワックスオフメットにて、塗装面全体を脱脂する。

## ②ベースの塗装

## &lt;ブロック塗装&gt;

- 一度に厚塗りしないで、**部艶セミウエット状(8~9)**に、塗装間隔を充分取りながら塗り重ねて下さい。
- サフがある場合、**まずサフの上を2回程塗り**、充分乾かしてから全体を塗って下さい。  
(530 パックガンV 使用による塗装条件)※スプレーガンの状態で変ります。)

	パーツ一枚程度の小面積補修			ボンネットを含む大面積の補修		
	捨て吹き	色決め	ムラ消し	捨て吹き	色決め	ムラ消し
吐出量	6	6	6	1-1	1-1	1-1
エア一圧	0.12 MPa	0.12 MPa	0.12 MPa	0.2 MPa	0.2 MPa	0.2 MPa
パターン幅	全開	全開	全開	全開	全開	全開
パターン重ね	5 / 6	6 / 7	6 / 7	5 / 6	6 / 7	6 / 7
ガン距離	15cm	10cm	20cm	20cm	15cm	25cm
塗り回数	1 回	2~3 回	1~2 回	1 回	2~3 回	1~2 回

## &lt;ボカシ塗装&gt;

- トップリアクターは、**アンダークリヤーなしでボカシ塗装出来ますが**、静電気等の影響でボカシ際のミストが走る場合は、アンダークリヤーをご使用下さい。
- 1 回目は薄く塗り、2 回目からは塗装間隔を充分に取りながら**セミウエット状**に塗り重ねて、下地を完全に隠蔽して下さい。
- 充分乾いてない状態で塗り重ねると、厚塗り部分が白くなります。
- ボカシ塗装は、一回目より二回目・二回目より三回目と**少しずつ塗り広げて**下さい。  
(ボカシ際を同じ所で行うと、**ミストがガサツキやく際の黒ズミが目立ちます。**)
- 一度に厚塗りすると、際の黒ズミが激しくなります。  
(530 パックガンV 使用による塗装条件)※スプレーガンの状態で変ります。)

	小さな部分でボカシを行う場合		広い部分でボカシを行う場合	
	色決め	ムラ取り・ボカシ	色決め	ムラ取り・ボカシ
吐出量	4	4	5	5
エア一圧	0.08 MPa	0.04 MPa	0.1 MPa	0.05 MPa
ガン距離	5~10cm	15~20cm	10cm	20cm
パターン重ね	6 / 7	6 / 7	6 / 7	6 / 7
塗り回数	完全隠蔽まで	2~3 回	完全隠蔽まで	2~3 回

## ③セッティング時間 (5~10分(室温))

- 低温時、厚塗りした場合は、セッティングを長めに取って下さい。

## ④クリヤー塗装

- クリヤーの塗装は、各クリヤーのマニュアルを参照下さい。

## ⑤乾燥

各クリヤーのマニュアルを参照下さい。